平成７年度

通常総会議案

期日　　平成７年５月31日

場所　　熊本県畜産会館
（熊本市桜木６丁目3−54）

社団法人　日本あか牛登録協会

議　　案

第１号議案　　平成６年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、財産目録及び貸借対照表の承認の件

第２号議案　　平成７年度事業計画書及び収支予算書（案）の承認の件

上記の通り提案します。

平成7年 5月31日

社団法人　日本あか牛登録協会

会長理事　　續　　省　三

第１号議案

平成６年度　事業報告書

１．概況

平成６年度は、急激な円高による景気回復の遅れ、夏場の水不足と早魃、大地震の発生など大きな社会不安がまきおこった。また懸案のウルグアイラウンドが終結、農業を含む日本経済は厳しい国際化に突入することになった。

このような情勢の中で、少しは持ち直すかにみえたあか牛の子牛価格は、依然として低迷の状態から脱出できず、飼養農家の中には高齢化と後継者不足から牛を手離す人も少なくなく、年間の繁殖雌牛保留頭数は１０年前の約４分の１程度まで減少し、まさに存亡の危機に直面している。

そのような中にあっても、一部にはあか牛の特性を理解し、肉質改良に積極的に取り組みながら、多頭化を推進している先進的農家もみられる。また全体的には土地利用型の複合経営が定着しており、農業本来の姿を求める声も高まっている。さらに生産から肥育までの一貫経営や産直システムもしだいに普及しつつある。

以下は本会が実施した事業の大要である。

２．庶務関係

(1) 定期監査

平成６年５月１９日、本会事務所において、平野、瀬口両監事出席のもとに定期監査が実施された。

(2) 理事会

平成６年５月３０日、熊本県畜産会館において理事会を開催し、平成６年度通常総会に提案する議案について審議した。

(3) 通常総会

平成６年５月３０日、熊本県畜産会館において通常総会を開催し、下記の議案を審議、

いずれも原案通り承認可決した。

ア．平成５年度収支予算書の補正の件

イ．平成５年度度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、
財産目録及び貸借対照表の承認の件

ウ．平成６年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の承認の件

エ．優良あか牛遺伝子保留協議会設立の件

オ．役員改選の件

(4) 役員改選結果

会　長　　績　省三

副会長　　岡本　篤、加藤義孝、高田昭二郎

常務理事　市川昭吉

理　事　　木原竹弘、吉田敏雄、佐藤平安、成田広造、茂木要治、高田倭男、
佐々木富雄、太田黒鐵郎、魚住汎英、府内哲熊、井野則男、北里達之助、
穴見盛雄、黒肥地一郎、工藤益雄

監　事　　瀬口幸介、平野文夫、大塚務徳

(5) 農林水産省からの法人検査

農林水産大臣の所管に属する公益法人の業務及び財産状況の検査が、平成７年１月３０日、農林水産省家畜生産課の菅谷公平技官、飯塚秀夫事務官を迎えて本会事務所で実施された。当日検査された主なる事項は下記の通り。

ア．事業の運営状況

イ．庶務の処理状況

ウ．会議の運営状況

エ．組織の状況

オ．財産の管理状況

カ．会計経理の状況

キ．その他

3．事業成績

(1)　会員の状況

本年度の会員数は、対前年比１７．１%減の７，０３１名であった。各道県支部別会員数は表１の通りである。

表１　各道県支部別会員数

	道県別	本年度会員数	前年度会員数	道県別	本年度会員数	前年度会員数
	北海道	272名	232名	静　岡	3名	5名
※	岩　手	18	20	長　崎	170	293
	秋　田	385	504	対　馬	153	195
	宮　城	65	117	熊　本	5,965	7,109
	群　馬	0	2	合　計	7,031	8,477

※は支部未設置県

(2)　登録事業

本年度は新制度になって２年目であったが、これまでの保留牛の減少が影響して、登録事業は全体的に低調であり、繁殖登録及び子牛登記頭数は過去最低を記録した。育種高等登録はその重要性が認識されいくぶん増加した。

登録区分別ならびに各道県別頭数は表２の通りである。

表2　道県支部別登録登記頭数

区分 支部別	育種高等登録	高等登録	産肉登録	繁殖登録	子牛登記	交雑登記	合計
北海道				220 (283)	1,803 (1,009)		2,023 (1,292)
※ 岩手				0 (1)	29 (26)		29 (27)
秋田			(9)	69 (114)	1,000 (1,248)		1,069 (1,371)
宮城				2 (19)	66 (157)	16 (26)	84 (202)
群馬				0 (2)			0 (2)
静岡				3 (3)	4 (9)		7 (12)
長崎				93 (101)	260 (426)	1 (0)	354 (527)
対馬			1 (0)	21 (24)	168 (306)	88 (48)	278 (378)
熊本	84 (80)	78 (91)	132 (207)	1,340 (1,523)	18,041 (20,196)	1,107 (3,361)	20,782 (25,458)
計	84 (80)	78 (91)	133 (207)	1,748 (2,070)	21,371 (23,377)	1,212 (3,435)	24,626 (29,269)
前年比 %	105.0	85.7	61.6	84.4	91.4	35.3	84.1

注：（　）内数字は前年度頭数、※は支部未設置県を示す。

(3)　育種事業

①　国、県が事業主体になって推進している肉用牛群改良基地育成事業に積極的に協力し、候補種雄牛の能力調査、基礎雌牛の選定など優良種畜の選抜、ならびに不良形質の除去対策などに取り組んだ。

②　間接検定、現場検定及び一般の肥育成績を調査し、得られたデータについて分析、育種改良の基礎資料とした。

③　中央審査委員会の開催

平成６年１０月１２日、１３日（熊本県農業研究センター、東肥畜産農協）

〔協議事項〕

ア．審査細則の一部改正

イ．優良肉用繁殖雌牛選定事業の実施

ウ．優良肉用牛資源有効活用促進事業の選定基準のための指針

エ．和牛の海外輸出問題と国内保留対策

④　超音波測定器により肉質形質の調査及び育種改良への応用

候補種雄牛、繁殖基礎雌牛の選抜利用法の確立のために超音波測定による肉質の診断を実施した。さらに登録制度改正以前の登録牛についても超音波測定を実施し、肉質形質が優秀と判定されたものは現行制度に準じて登録証明書に表示した。

(4)　普及指導事業

①　全国あか牛研究会の開催

平成６年１０月１３日、　熊本県菊池郡大津町（東肥畜産農業協同組合）

参加者　約１２０名

繁殖農家、肥育農家の現地研修

登録協議会、各県の情勢報告

超音波診断技術実習　（講師＝宮崎大学農学部　原田宏助教授）

審査実習（繁殖登録牛、育種高等登録牛）、審査コンクール

②　各県支部が主催した研究会、研修会等に協力すると共に、担当者を派遣し指導に努めた。

(5)　組織対策事業

支部の活動及び会員の各種会合等に対して協力し、組織の強化に努めた。

(6)　刊行事業

機関誌『あか牛』第６７号を刊行した。

(7)　表彰事業

①　各種共進会に対し、それぞれ副賞を贈呈して上位入賞牛を表彰した。

②　特別功労牛の表彰

(8)　受託事業

①　優良肉用繁殖雌牛選定事業（地方競馬全国協会、全国肉用牛協会委託）

超音波による肉質形質の診断を採り入れた新たな選抜方法を確立するために、繁殖雌牛に超音波調査を実施し、調査部位、年齢差、地域差等について検討した。

検討会　平成６年１０月１２日（熊本県農業研究センター）

検討会　平成７年　１月２４日（熊本県畜産会館）

②　優良肉用牛資源有効活用促進事業（全国肉用牛協会委託）

平成３年度から始まった、優良肉用牛資源有効活用促進事業（畜産振興事業団の指定事業）の中の、育種資源確保対策事業の改良増殖推進型に係る優良雌牛選定基準の指針の策定等について事業を実施した。

また、国外への和牛の生体輸出の問題が発生したので、その対応について協議するとともに、優良遺伝子保留協議会を設立、国内保留の重要性について啓蒙を図った。

品種別選定基準検討会　　平成６年１０月１３日（東肥畜産農業協同組合）

同　　平成７年　１月２４日（熊本県畜産会館）

③　肉用牛生産技術普及向上事業（全国肉用牛協会委託）

あか牛の飼養管理及び改良問題について生産農家に正しい知識と理解を得るためにパンフレットを作成し全国のあか牛飼養農家に配布した。

④　計画交配推進調査事業（熊本県委託）

肉用牛群改良基地育成事業の補完的な事業として、基礎雌牛の選抜、超音波測定、血統分析、繁殖成績等の特性や能力を調査し、計画交配の推進に努めた。

また異常形質の発生状況について調査し原因究明を図るとともに、新たに造成された種雄牛について不良遺伝子保有の有無を確かめるための事業を関係機関と連携して実施した。

⑤　肉用牛改良情報サービス整備事業（熊本県委託）

超音波診断装置を用いて、種畜の選抜手法を確立するとともに、産肉性に関する現場情報及び超音波診断データを収集・分析し、農協、農家にフィードバックし、総合的な肉用牛の改良を推進した。

⑥　家畜改良体制整備事業（家畜改良事業団委託）

登録関係データのコンピュータ処理を中心に、改良体制整備事業を実施した。

平成６年度収支計算書

収入総額　７６，１８１，４１０　円

支出総額　７３，１７９，８５８　円

平成６年　４月　１日から
平成７年　３月３１日まで

収　入　の　部

科目（款項目）	予算額 円	決算額 円	差異 円	備考
１．会　　費	11,050,000	9,140,300	1,909,700	1,300円× 7,031名
２．登　録　料	52,290,000	48,331,600	3,958,400	
育種高等登録料	200,000	860,000	△ 660,000	30,000円× 1件（雄） 10,000円× 83件
高等登録料	800,000	672,000	128,000	24,000円× 3件（雄） 8,000円× 75件
産肉登録料	1,600,000	1,064,000	536,000	8,000円× 133件
繁殖登録料	12,180,000	10,656,000	1,524,000	18,000円×14件（雄） 6,000円× 1,734件
月齢超過料	155,000	75,950	79,050	1,550円× 49件
子牛登記料	35,650,000	33,125,050	2,524,950	1,550円×21,371件
交雑登記料	1,705,000	1,878,600	△ 173,600	1,550円× 1,212件
３．証　明　料	303,500	503,000	△ 199,500	
移動証明料	250,000	383,000	△ 133,000	500円× 766件
再交付料	52,500	31,500	21,000	1,050円× 30件
書換料	1,000	88,500	△ 87,500	500円× 177件
４．超音波検査料	500,000	461,000	39,000	500円× 922件
５．雑　収　入	100,909	222,559	△ 121,650	
雑収入	80,909	221,159	△ 140,250	預金利息他
刊行物頒布代	10,000	1,400	8,600	
寄付金収入	10,000	0	10,000	
６．受　託　金	13,500,000	14,245,360	△ 745,360	熊本県、全国肉用牛協会、地全協 家畜改良事業団
当期収入合計　（A）	77,744,409	72,903,819	4,840,590	
前期繰越収支差額	3,277,591	3,277,591	0	
収　入　合　計（B）	81,022,000	76,181,410	4,840,590	

支出の部				
科目 （款項目）	予算額 円	決算額 円	差異 円	備考
1 管理事務費	22,930,000	20,538,500	2,391,500	
1．人件費	16,800,000	15,406,472	1,393,528	
役員旅費	1,000,000	17,160	982,840	
給料手当	13,200,000	13,081,270	118,730	専任2名 12か月分 本俸，諸手当，賞与
臨時雇賃金	1,000,000	880,000	120,000	
福利厚生費	1,500,000	1,414,882	85,118	社会保険事業主負担分
旅費交通費	100,000	13,160	86,840	
2．事務費	4,830,000	3,875,994	954,006	
備品費	100,000	0	100,000	
消耗品費	100,000	51,014	48,986	事務用品代
通信運搬費	400,000	160,542	239,458	
印刷費	100,000	22,000	78,000	
事務機リース料	200,000	19,879	180,121	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ,ｺﾋﾟｰ ﾘｰｽ 代
賃借料	1,210,000	1,205,352	4,648	事務所，駐車場
光熱水料費	180,000	134,110	45,890	
車輌費	200,000	100,396	99,604	
租税公課	1,200,000	1,056,400	143,600	消費税他
保険料	80,000	91,900	△ 11,900	車保険
負担金	460,000	445,000	15,000	中畜，肉用牛協会 技術協会他
雑費	600,000	589,401	10,599	
3．会議費	1,300,000	1,256,034	43,966	
役員会費	800,000	727,405	72,595	
総会費	500,000	528,629	△ 28,629	

2 事　業　費	17,400,000	16,294,808	1,105,192	
1．登録事業費	1,100,000	518,038	581,962	
審　査　費	100,000	0	100,000	
証明書発行費	400,000	155,350	244,650	
審査委員費及び専門委員会費	400,000	102,538	297,462	
登録推進奨励費	200,000	260,150	△ 60,150	多頭化奨励金ほか
2　育種改良事業費	500,000	0	500,000	
育種改良調査費	300,000	0	300,000	
産肉性調査費	200,000	0	200,000	
3．普及事業費	1,100,000	773,776	326,224	
全国ブロック研究会費	500,000	470,480	29,520	
普及推進費	200,000	156,200	43,800	
研究会講習会費	200,000	40,000	160,000	
宣伝費食糧費	200,000	107,096	92,904	
4．刊行事業費	600,000	495,000	105,000	
登録簿刊行費	100,000	0	100,000	
機関誌刊行費	500,000	495,000	5,000	
5．褒賞費	600,000	244,600	355,400	
6．受託事業	13,500,000	14,263,394	△ 763,394	
計画交配推進調査費	2,000,000	1,495,000	505,000	熊本県
肉用牛改良情報サービス整備費	1,900,000	1,798,000	102,000	熊本県
改良体制整備費	1,500,000	821,133	678,867	家畜改良事業団
肉用牛優良資源活用促進事業	4,100,000	4,302,076	△ 202,076	全国肉用牛協会
肉用牛生産技術向上促進事業	0	1,541,980	△ 1,541,980	全国肉用牛協会（パンフレット作成）
優良肉用繁殖雌牛選定推進事業	4,000,000	4,305,205	△ 305,205	全国肉用牛協会（地全協）

3．支部交付金	38,405,000	35,346,550	3,058,450	
会費支部交付金	4,000,000	3,131,500	868,500	各県支部への交付金
登録料支部交付金	34,179,500	31,822,100	2,357,400	
証明料支部交付金	225,500	392,950	△ 167,450	
4．積　立　金	1,000,000	1,000,000	0	
職員退職給与積立金	1,000,000	1,000,000	0	
5．予　備　費	1,287,000	0	1,287,000	
当期支出合計　(C)	81,022,000	73,179,858	7,842,142	
当期収支差額　(A)-(C)	△ 3,277,591	△ 276,039	△ 3,001,552	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	3,001,552	△ 3,001,552	

収支計算書総括表

平成6年　4月　1日から
平成7年　3月31日まで

会計区分	前年度繰越額 円	収入額 円	支出額 円	残高 円	備考
1．一般会計	3,277,591	72,903,819	73,179,858	3,001,552	
2．特別会計	26,939,294	1,593,148	75,463	28,456,979	
特別積立金	1,239,664	21,074	0	1,260,738	
車両、器具備品会計	924,507	0	75,463	849,044	
職員退職給与積立金	24,023,298	1,559,293	0	25,582,591	
減価償却積立金	751,825	12,781	0	764,606	
合　計	30,216,885	74,496,967	73,255,321	31,458,531	

正味財産増減計算書

社団法人　日本あか牛登録協会
平成６年４月　１日から
平成７年３月３１日まで

科　　目	金　　額		
Ⅰ．増加の部	円	円	円
（１）資産増加額		1,593,148	
職員退職積立金増加	1,559,293		
減価償却積立金増加	12,781		
特別積立金増加	21,074		
増加額合計			1,593,148
Ⅱ．減少の部			
（１）資産減少額		351,502	
当期収支差額	276,039		
車両備品償却額	75,463		
（２）負債増加額		1,878,230	
職員退職引当金繰入額	1,878,230		
減少額合計			2,229,732
当期正味財産減少額			636,584
前期繰越正味財産額			1,693,590
期末正味財産合計額			1,057,006

財　産　目　録

社団法人　日本あか牛登録協会
（平成７年３月３１日現在）

（　資　産　の　部　）

項　　目	内　訳	金　額
	円	円
Ⅰ．流　動　資　産		7,591,734
1．現　金　預　金	433,624	
(1) 現金	0	
(2) 普通預金（肥後銀行佐土原出張所）	433,624	
2．未　収　金	7,158,110	
(1) 会　費	117,000	
(2) 登録登記料	2,272,750	
(3) 証明料	9,000	
(4) 受託金（熊本県）	989,000	
(5) 受託金（全国肉用牛協会）	3,524,860	
(6) 受託金（家畜改良事業団）	245,500	
Ⅱ．固　定　資　産		28,456,979
1．基本財産	0	
2．その他の固定資産	28,456,979	
(1) 車両・器具備品（自家用車ほか	849,044	
(2) 職員退職給与積立預金（三井信託銀行、肥後銀行）	25,582,591	
(3) 減価償却積立預金（肥後銀行）	764,606	
(4) 特別積立金預金（肥後銀行）	1,260,738	
資　産　合　計		36,048,713

（負債の部）		
項　　目	内　訳	金　額
	円	円
Ⅰ．流動負債		4,590,182
1．預り金	469,767	
2．未払金	4,120,415	
(1) 消費税	306,700	
(2) 支部交付金	1,602,770	
(3) 熊本県受託事業	99,900	
(4) 全国肉用牛協会受託事業	2,111,045	
Ⅱ．固定負債		30,401,525
1．職員退職給与引当金	30,401,525	
負債合計		34,991,707
正味財産		1,057,006

貸借対照表

社団法人　日本あか牛登録協会
（平成７年３月３１日現在）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
Ⅰ．流動資産	7,591,734円	Ⅰ．流動負債	4,590,182円
現金預金	433,624	預り金	469,767
未収金	7,158,110	未払金	4,120,415
会費	117,000	消費税	306,700
登録料	2,272,750	支部交付金	1,602,770
証明料	9,000	熊本県受託事業	99,900
受託金（熊本県）	989,000	肉用牛受託事業	2,111,045
受託金（肉用牛	3,524,860		
受託金（改良事業団	245,500	Ⅱ．固定負債	30,401,525
		職員退職給与引当金	30,401,525
Ⅱ．固定資産	28,456,979	負債合計	34,991,707
基本財産	0		
その他の固定資産	28,456,979	正味財産の部	
車両・器具備品	849,044		
職員退職積立金	25,582,591	正味財産	1,057,006
減価償却積立金	764,606	（うち基本財産）	（0）
特別積立金	1,260,738	（うち当期正味財産減少額）	（636,584）
資産合計	36,048,713	負債及び正味財産合計	36,048,713

社　員　名　簿

社団法人　日本あか牛登録協会
（平成７年３月３１日現在）

道県別	社　員　数
熊　本	田端初吉　ほか　5,964　名
秋　田	山田富雄　ほか　384　名
北海道	石橋孝行　ほか　271　名
長　崎	中村助左衛門　ほか　169　名
対　馬	八坂代吉　ほか　152　名
宮　城	浅井忠一　ほか　64　名
岩　手	佐々木良喜　ほか　17　名
静　岡	大場智子　ほか　2　名
合　計	7，031　名

監　査　報　告

平成６年度決算ならびに会務全般について監査を実施したので、その結果を下記の通り報告します。

記

１．登録登記頭数が昨年度よりさらに減少したことは誠に遺憾であり、このままでは協会の健全な運営も憂慮される。この際、関係者は全力をあげて改良増殖と登録事業の推進に一層の努力を願いたい。

２．一般庶務、経理関係及び書類の整備は適正であり、収支計算書及び財産目録等との照合においても異常を認めない。

３．現金、預金ならびに積立金の管理も良好である。

平成　7年　5月19日

監　事　　平　野　文　夫　　印

監　事　　瀬　口　幸　介　　印

監　事　　大　塚　務　徳　　印

第２号議案

平成７年度 事業計画書（案）

概　要

前年度においてガット・ウルグアイラウンドが妥結し、本年から世界貿易機関（ＷＴＯ）へ移行することとなり、貿易問題もいよいよ本格的な国際化の時代を迎えた。

わが国の農業は、これまで強固に守ってきたコメ輸入の部分開放や、畜産物についての関税率の相次ぐ引き下げにより、その影響はこれまで以上に厳しいものと予想されている。これに対して、国ではその影響をできるだけ排除するための予算措置や諸施策を講じることになるので影響は小さいと説明されている。

牛肉については本年度から６年間で関税率を３８．５％まで引き下げることが農業合意で決定しており、生産農家にあっては、最近の急激な円高が重なり国産牛肉や子牛価格の暴落につながるのではないかと危機感を強めている。

このような厳しい環境のもとで、あか牛は繁殖雌牛頭数の減少傾向をどう食い止めるかが最大の課題であり、そのためには、肉質の改善と能力の向上、さらにはその特性を広く普及浸透させることに最大限の努力が必要となっている。

本会は、現在財政面で厳しい状況を余儀なくされているが、目的達成のため関係機関との連携をさらに強固にし、各方面からの支援を受けて諸事業を推進していきたい。

以下は、本年度の主な事業内容である。

１．会員数

本年度は７，０００名の会員数を目標として諸事業を推進する。

２．登録事業

(1)　前年度は登録頭数がさらに過去最低水準まで減少したが、本年度は新登録制度に移行して３年目になり、制度の趣旨や仕組みについてもしだいに理解さてきているので、次の頭数を目標に掲げ登録事業を推進する。

(2)　登録牛多頭化奨励金制度及び育種奨励金制度は継続実施する。

〔 目 標 頭 数 〕

育種高等登録	１００頭	（　　８４頭）
高等登録	１００頭	（　　７８頭）
産肉登録	２００頭	（　　１３０頭）
繁殖登録	２，０１０頭	（ １，７３１頭）
子牛登記	２２，０００頭	（２１，１６２頭）
交雑登記	１，０００頭	（ １，１５４頭）

注：かっこ内は前年度の実績

３．育種改良事業

(1)　肉用牛群改良基地育成事業等の種畜選抜事業に対しては、関係機関と連携をとりながら、優良種畜の選抜及び不良形質の淘汰など育種改良事業を推進する。

(2)　産肉能力検定事業等の推進、現場情報による産肉性の調査、データ分析を通して優良系統を選抜する。さらに、現行の検定方法について見直しを進め、より的確な検定方法を確立するよう関係機関と協議する。

(3)　受精卵移植技術、体外受精技術等の新技術に対する取り組みについても継続実施する。

(4)　超音波検査による優良肉質素材牛の選抜などは継続実施する。

４．普及指導事業

(1)　全国あか牛研究会の開催　　（北海道釧路市、阿寒町、６月中旬）

(2)　各支部主催の研究会、講習会に対する協力

５．刊行事業

機関誌「あか牛」とその他の改良資料の発行。

ＰＲ用パンフレット等の印刷・配布

６．表彰事業

(1)　共進会、共励会での優秀牛の表彰

(2)　特別功労牛の表彰

(3)　登録功労者、優良農家（団体）の表彰

７．補助事業、受託事業

(1) 肉用牛産肉特性調査事業（地全協、全国肉用牛協会）

(2) 優良肉用牛資源有効活用促進事業ほか　（全国肉用牛協会）

(3) 家畜改良体制整備事業ほか　（家畜改良事業団）

平成７年度 収支予算書（案）

収入総額　７５，６６５，０００ 円
支出総額　７５，６６５，０００ 円

平成7年　4月　1日から
平成8年　3月３１日まで

収　入　の　部				
科　目 （款　項　目）	本年度予算額 円	前年度予算額 円	増　減 円	備　考
1．会　費	9,100,000	11,050,000	△ 1,950,000	1,300円× 7,000名
2．登　録　料	51,385,000	52,290,000	△ 905,000	
育種高等登録料	1,000,000	200,000	800,000	10,000円× 100件
高等登録料	800,000	800,000	0	8,000円× 100件
産肉登録料	1,600,000	1,600,000	0	8,000円× 200件
繁殖登録料	12,180,000	12,180,000	0	18,000円×10件（雄） 6,000円× 2,000件
月齢超過料	155,000	155,000	0	1,550円× 100件
子牛登記料	34,100,000	35,650,000	△ 1,550,000	1,550円×22,000件
交雑登記料	1,550,000	1,705,000	△ 155,000	1,550円× 1,000件
3．証　明　料	577,500	303,500	274,000	
移動証明料	500,000	250,000	250,000	500円× 1,000件
再交付料	52,500	52,500	0	1,050円×50件
書換料	25,000	1,000	24,000	500円×50件
4．超音波検査料	200,000	500,000	△ 300,000	500円×　400件
5．雑　収　入	100,948	100,909	39	
雑収入	80,948	80,909	39	預金利息他
刊行物頒布代	10,000	10,000	0	
寄付金収入	10,000	10,000	0	
6．受　託　金	11,300,000	13,500,000	△ 2,200,000	全国肉用牛協会 地全協、熊本県 家畜改良事業団
当期収入合計　（A）	72,663,448	77,744,409	△ 5,080,961	
前期繰越収支差額	3,001,552	3,277,591	△ 276,039	
収入合計（B）	75,665,000	81,022,000	△ 5,357,000	

支　出　の　部				
科　目 （款　項　目）	本年度予算額 円	前年度予算額 円	増　減 円	備　考
1　管理事務費	22,640,000	22,930,000	△　290,000	
1．人　件　費	17,200,000	16,800,000	400,000	
役　員　旅　費	500,000	1,000,000	△　500,000	
給　料　手　当	13,800,000	13,200,000	600,000	専任２名　12か月分 本俸，諸手当，賞与
臨　時　雇　賃　金	1,200,000	1,000,000	200,000	
福　利　厚　生　費	1,600,000	1,500,000	100,000	社会保険事業主負担分
旅　費　交　通　費	100,000	100,000	0	
2．事　務　費	4,140,000	4,830,000	△　690,000	
備　品　費	0	100,000	△　100,000	
消　耗　品　費	100,000	100,000	0	事務用品代
通　信　運　搬　費	200,000	400,000	△　200,000	
印　刷　費	50,000	100,000	△　50,000	
事務機リース料	100,000	200,000	△　100,000	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ,ｺﾋﾟｰ　ﾘｰｽ代
賃　借　料	1,210,000	1,210,000	0	事務所，駐車場
光　熱　水　料　費	150,000	180,000	△　30,000	
車　輌　費	100,000	200,000	△　100,000	
租　税　公　課	1,200,000	1,200,000	0	消費税他
保　険　料	80,000	80,000	0	
負　担　金	450,000	460,000	△　10,000	中畜，肉用牛協会 技術協会他
雑　費	500,000	600,000	△　100,000	
3．会　議　費	1,300,000	1,300,000	0	
役　員　会　費	800,000	800,000	0	
総　会　費	500,000	500,000	0	

2 事　業　費	14,600,000	17,400,000	△ 2,800,000	
1．登録事業費	600,000	1,100,000	△ 500,000	
2　育種改良事業費	500,000	500,000	0	
3．普及事業費	1,100,000	1,100,000	0	
4．刊行事業費	500,000	600,000	△ 100,000	
5．褒　賞　費	600,000	600,000	0	
6．受託事業	11,300,000	13,500,000	△ 2,200,000	
計画交配推進調　査　費	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	熊本県
肉用牛改良情報サービス整備費	0	1,900,000	△ 1,900,000	熊本県
改良体制整備費	500,000	1,500,000	△ 1,000,000	家畜改良事業団
肉用牛優良資源活用促進事業	4,300,000	4,100,000	200,000	全国肉用牛協会
肉用牛生産技術向上促進事業	1,500,000	0	1,500,000	全国肉用牛協会
優良肉用繁殖雌牛選定推進事業	3,500,000	4,000,000	△ 500,000	全国肉用牛協会（地全協）
3．支部交付金	36,803,500	38,405,000	△ 1,601,500	
会費支部交付金	3,100,000	4,000,000	△ 900,000	各県支部への交付金
登録料支部交付金	33,362,500	34,179,500	△ 817,000	
証明料支部交付金	341,000	225,500	115,500	
4．積　立　金	1,000,000	1,000,000	0	
職員退職給与積　立　金	1,000,000	1,000,000	0	
5．予　備　費	621,500	1,287,000	△ 665,500	
当期支出合計　（C）	75,665,000	81,022,000	△ 5,357,000	
当期収支差額　(A)-(C)	△ 3,001,552	△ 3,277,591	276,039	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	

（注）　1．借入金の最高限度額は３００万円

役　員　名　簿

社団法人　日本あか牛登録協会
（平成７年５月３１日現在）

役職	氏名	所属	現住所
会長	續　省三	学識経験者（日本飼料作物種子協会長）	東京都田無市向台町４丁目15番34号
副会長	岡本　篤	熊本県支部長（熊本県畜産農協連合会長）	熊本市上南部町 799番地
副会長	加藤義孝	秋田県支部長（秋田県畜産農協連合会長）	秋田県男鹿市脇本字脇本中野21番地
副会長	高田昭二郎	熊本県球磨畜産農協長	熊本県球磨郡錦町一武2111番地の2
常務理事	市川昭吉	熊本県畜産農協副組合長	熊本県下益城郡中央町払川 260番地
理事	木原竹弘	北海道支部長（北海道肉用家畜協会長）	北海道厚岸郡厚岸町大字太田村字大別5番地の185
理事	吉田敏雄	北海道道南南部肉用牛振興協議会長	北海道上磯郡木古内町大字中野300 番地の1
理事	佐藤平安	秋田県阿仁東部畜産農協長	秋田県北秋田郡阿仁町根子又の12番地
理事	成田廣造	秋田県山本畜産農協長	秋田県山本郡二ツ井町山根 102番地
理事	高田倭男	長崎県支部長（長崎県有家町農協理事）	長崎県南高来郡有家町山川 448番地
理事	佐々木富雄	長崎県対馬支部長（対馬農協長）	長崎県下県郡厳原町大字豆酘内院145 番地
理事	太田黒鐵郎	熊本県畜産農協常務理事	熊本県鹿本郡鹿北町大字岩野5457番地
理事	魚住汎英	熊本県畜産農協理事	熊本県菊池市隈府 295番地
理事	府内哲熊	熊本県畜産農協副組合長	熊本県菊池郡大津町大字平川 212番地
理事	井野則男	熊本県畜産農協理事	熊本県阿蘇郡阿蘇町山田1614番地
理事	北里達之助	熊本県阿蘇小国郷農協長	熊本県阿蘇郡小国町黒渕1710番地
理事	穴見盛雄	熊本県南阿蘇畜産農協長	熊本県阿蘇郡蘇陽町大字大見口 299番地
理事	黒肥地一郎	学識経験者（元鹿児島大学農学部教授）	熊本市梶尾町1359番地30
理事	工藤益雄	学識経験者（元球磨畜産農協参事）	熊本県人吉市鬼木町 610番地の3
監事	瀬口幸介	学識経験者（熊本県畜産課長）	熊本県山鹿市鹿校通２丁目 4番17号
監事	平野文夫	熊本県玉名農協理事	熊本県玉名郡南関町大字細永4476番地
監事	大塚務徳	熊本県畜産農協理事	熊本県上益城郡清和村大字米生54番地